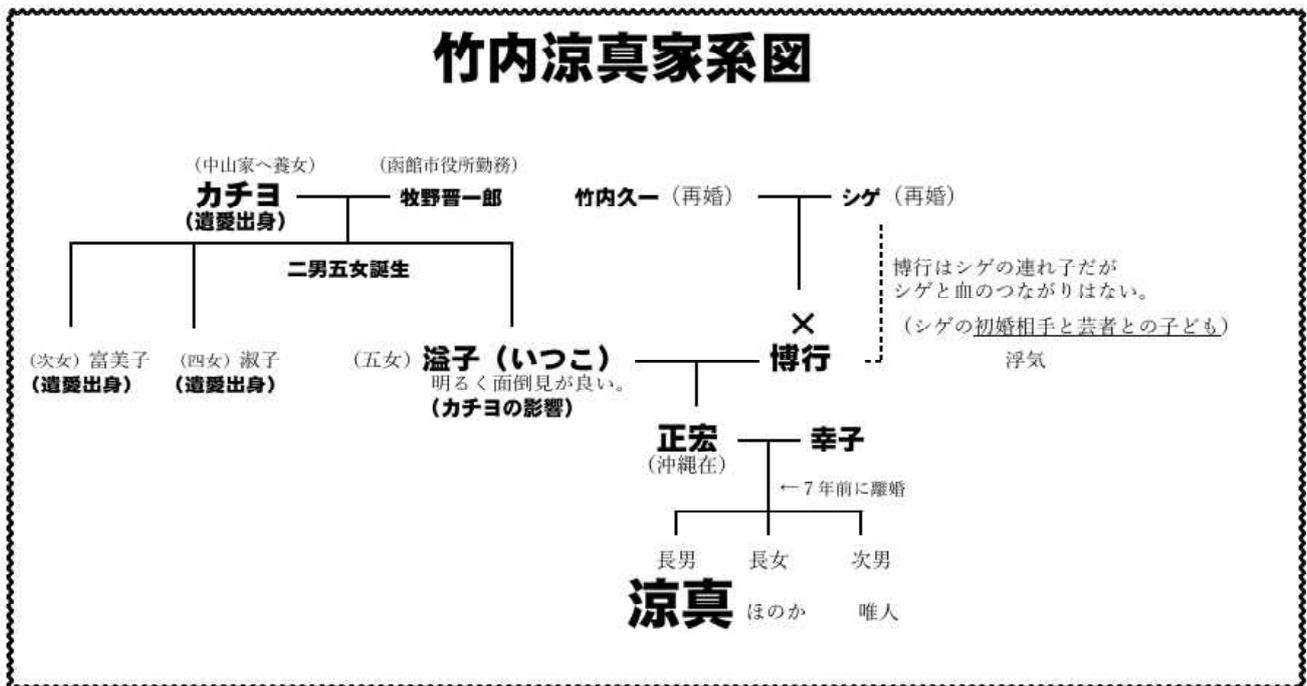


# 「NHK 竹内涼真ファミリーヒストリー」 涼真さんのひいおばあちゃん(遺愛出身)は クリスマスが大好きでした！！

11月27日(水)夜、「NHKファミリーヒストリー竹内涼真編」が放映されました。竹内涼真さんのご家庭は、涼真さんの笑顔のさわやかさと対照的にとても複雑なご家庭だということがよくわかりました。番組を1度みただけでは、関係がなかなか把握できなかつたので、何度もみて、ようやく見えてきました。

涼真さんのひいおばあちゃんである遺愛で学んだ「かちよ」さんの「愛」が竹内さん一家を支えてきていたのだなとしみじみ感じました。



父方の涼真さんのおじいさんである「竹内博行さん」の出生がよくわからなかったもので、ぜひ知りたいということで番組はスタートしました。父方のひいおばあちゃんである「しげさん」は、死ぬ間際に、自分の息子(涼真さんのおじいちゃん)の「博行さん」を、「自分の子どもではない」と言って息を引き取ったそうです。本当の母だと思っていた「博行さん」は、そのあと悩み、ひきずり、朝から酒を飲むような生活をし、多額の借金をかかえていました。

番組スタッフが調べてみると、ひいおばあさんの「しげさん」は、再婚して竹内家に入ったとのこと。竹内一族のひいおじいちゃんの「久一さん」も再婚で、「しげさん」と結婚しています。「しげさん」は、その時に「博行さん」を前夫との子どもとして連れてきたのですが、実は「博行さん」は、「し

げさん」の前夫が、芸者とのあいだにできた子どもで、「しげさん」とは血縁のない子どもでした。しかし、再婚相手の竹内家のひいおじいちゃんが気の毒に思って、竹内家の子どもとして育てることにしたようでした。そのことを「しげさん」の遺言で、はじめて知った「博行さん」は、なかなか心の整理がつかず、酒におぼれてしまったようでした。

それに対して、「博行さん」と結婚した牧野家のおばあちゃんの「溢子（いつこ）さん」は、とても明るく、人の面倒見がとても良く、やさしく、82歳の今も甲斐甲斐しく孫の面倒をみています。それは「溢子さん」のお母さんである「かちよさん」の影響を受けたからでした。

「かちよさん」は、函館に住む10人姉弟の次女でしたが、5歳の時に宝石商を営む中山家に養女にだされました。そこでの生活はたいへん淋しく、辛いものがあつたようでしたが、**大正8年（1919年）、14歳の時に遺愛女学校に入学しました。毎朝の礼拝で讃美歌、聖書に親しみ、前向きに楽しい女学校生活をおくっていました**が、養父母からは、家業を手伝うように強く迫られ、学校から出されてた宿題を一生懸命やろうものなら、真つ暗な蔵（くら）に3日間も閉じ込められ、食事も満足に与えられないこともありました。その時に「かちよ」さんは神様に真剣に祈ったとのことでした。「かちよさん」の次女の富美子さんは母「かちよさん」から何度もその話を聞いていました。「かちよさん」は**大正10年10月3日には家庭の事情で遺愛女学校を退学をせざるをえなく、いったんは退学**しましたが、遺愛の教師の強い勧めもあり、何とか**翌年11年には復学し、大正13年（1924年）に卒業**できました。卒業後は政略結婚をさせようとしていた養父母の家から逃げ出し、実家に戻りました。

その後、函館市役所に勤める牧野晋一郎氏と出会い、結婚しました。7人の子ども（2男5女）に恵まれ、経済的には決して楽な生活ではありませんでしたが、牧野家はとても楽しい家庭だったと息子達（長男・次男）は語っていました。「かちよさん」は子どもの時には味わうことができなかったあたたかい家庭をつくろうとしたようでした。遺愛の奉仕の心で周りに接し、民生委員を務め、家にはいつも他人がいて、「かちよさん」に相談していました。困っている家庭に「おかず」を持って行くのは、いつも五女の「溢子さん」でした。

**「かちよさん」は、遺愛で初めて知ったクリスマスがとても大好きで、毎年クリスマスには、近所の人たちや子どもたちを家に集めては、讃美歌を歌い、パーティをしていました。**母「かちよさん」の愛に包まれて、牧野家の子どもたちは皆仲良しでした。

五女の「溢子さん（涼真さんのおばあちゃん）」は母「かちよさん」の面倒見の良さ、奉仕の心を受け継いでいました。夫が大酒飲みのために借金だらけで本当に苦労したようでしたが、子どもたちにはそれを全く感じさせなかったようで、明るく、まわりにいつも笑いをふりまいていたとのことでした。

た。

現在、涼真さんのお父さんとお母さんは7年前に離婚して、お父さんは沖縄にいます。この番組のために涼真さんのお母さん幸子（さちこ）さんが登場しました。幸子さんは「結婚していたときには、溢子さんは実の娘のように自分に接してくれて本当に有り難かった。」としみじみ語っていました。

「かちよさん」の遺愛で学んだ基督教の愛の教えが、ともすれば悲惨な家庭になりがちなところを救っていました。それが子ども、孫、ひ孫達にも伝わっていたと感じました。

（ちなみに私のテレビ出演時間は22秒でした。1時間以上取材されたのに…ハハハ！！）



左から五女で涼真さんの祖母の「溢子さん」、涼真さん、次女「富美子さん」、四女「淑子さん」  
（「富美子さん」「淑子さん」も遺愛出身。）



ひいおばあちゃんの「かちよ」さん